

# ふくしま ★ゆめ ★トライ

福島県内で夢に向かって  
新たなチャレンジをしている方、  
地域を盛り上げるために  
頑張っている方を紹介します！



穀物のようなふわっとした甘みと香ばしい香りが口の中に広がる『いなびし茶』。血糖値上昇の抑制も期待できるポリフェノールが豊富です。

## 猪苗代湖の「厄介者」ヒシを 町の「人気者」にする

株式会社いなびし 代表取締役 ながともひろむ 長友海夢さん（猪苗代町）



2023年の1・2月にオープンした『いなびし茶屋』。夏はかき氷など季節ごとに地域の甘菓子を  
提供する予定だそう。



環境保全と経済発展の調和を目指して行うヒシの収穫体験。自然を楽しみながら水質について学べると、教育現場からはもちろん、一般の方にも人気です。



「いなびし茶屋」では、季節限定でそば打ち体験も実施しています。

〒猪苗代町堤字 4983-4 (いなびし茶屋)  
☎ 050-7129-0090

水面に浮かぶ水草「ヒシ」。トゲのある実が特徴で、忍者のマキビシの原型とも言われています。ヒシは近年猪苗代湖で急増し、水質汚濁や湖の景観を損ねる厄介者になっていました。「子どもの頃から家族と一緒によく遊びに来ていた猪苗代町に恩返しをしたい」と思いました」と長友さん。2020年に移住し、地域おこし協力隊として活動する中、ヒシをお茶として活用する『いなびし

茶』を考案しました。2022年には法人を立ち上げ、お茶の販売をスタートしますが、当初は焙煎がうまくいかず収穫したヒシの8割をダメにしたことも…。それでも猪苗代町の新しい定番土産にしようと試行錯誤を重ね、現在はいなびし茶のパック販売、ヒシの収穫・焙煎の体験事業ができるまでになりました。

長友さんの次なる目標は『いなびし茶』を海外に発信すること。猪苗代湖の認知度を上げ、ゆくゆくは忍者姿でヒシを収穫する体験ツアーを実施したいのだとか。猪苗代湖の「厄介者」が「人気者」になるその日まで、長友さんの挑戦は続きます。



読者からの  
お便り

「ふくしまゆめトライ」の記事を見て、「TATAMI」文化を福島から世界へ発信していることを初めて知りました。日本を代表する量が世界にアピールされていることをうれしく思います。(20代 二本松市)

2023年  
12月号

